

福島未来を担う「FUKUSHIMA NEXT」 第1回県知事賞受賞の Team Cross FA が特設サイトにて紹介 -10月15日(土)には福島民友にて広告掲載-

製造業のDXから生産ラインの開発・実装までを包括的に支援するコンソーシアム「Team Cross FA」(チームクロスエフエー、以下TXFA)は、震災からの環境再生や復興の実現に向けた未来志向の優れた取り組みを表彰する、環境省と福島県によるプロジェクト「FUKUSHIMA NEXT」にて、2021年に第1回県知事賞を受賞しました。

この度、環境省が運営する「FUKUSHIMA NEXT」特設サイトにてTXFAプロデュース統括の天野真也へのインタビューが掲載されました。また、2022年10月15日(土)には、福島民友にて広告を掲載される運びとなりました。



■福島未来を担う「FUKUSHIMA NEXT」

福島県では、環境再生や復興の実現、そして未来への継承に向けて、多くの人々や団体が活動されています。福島県のためにひたむきに取り組む方々を、もっと多くの人に知っていただきたい、そして応援していただきたい。そんな思いから環境省と福島県は未来志向の優れた取り組みに対して、福島環境リブランディングキャンペーン「FUKUSHIMA NEXT」表彰制度を設けました。

■特設サイトにてインタビューが掲載

TXFAの構想を具現化したスマートファクトリー「ロボコム・アンド・エフエイコム南相馬工場」は、福島県・南相馬市の南相馬復興団地に位置しています。

今回掲載されるインタビューでは、震災から11年を迎えた福島県におけるロボット産業の可能性や、TXFAひいては、製造業としてどのように福島県に貢献できるかについて、TXFAプロデュース統括の天野が話しました。

詳細は特設サイトからご確認ください。

URL ▶ <http://shiteihaiki.env.go.jp/fukushimamirai/sonosaki/next/no07.html>

※公開は2022年10月14日(金)19:00以降を予定しております。

また、「FUKUSHIMA NEXT」特設サイトでの紹介に合わせて、福島県の皆様に長年愛されている福島民友にて広告が掲載されます。こちらもぜひご覧ください。

■Team Cross FA 基本情報

呼称 : Team Cross FA (チームクロスエフエー)
事務局 : 〒105-0004 東京都港区新橋 5-35-10 新橋アネックス 2F
(株式会社 FA プロダクツ内)



URL : <https://connected-engineering.com/>
幹事企業 : 株式会社 FA プロダクツ <https://fa-products.jp/>
ロボコム株式会社 <https://robotcom.jp>
株式会社オフィス エフエイ・コム <https://www.office-fa.com/>
日本サポートシステム株式会社 <https://jssl.jp/>
ロボコム・アンド・エフエイコム株式会社 <https://robotandfa.com/>
株式会社 INDUSTRIAL-XSECURITY <https://industrial-xs.jp/>
株式会社 SaaSis <https://saasis.jp/>
公式パートナー : 鹿島建設株式会社 <https://www.kajima.co.jp/>
株式会社電通国際情報サービス <https://www.isid.co.jp/>
株式会社日立システムズ <https://www.hitachi-systems.com/>
Modis 株式会社 <https://www.modis.co.jp/>
ミツイワ株式会社 <https://www.mitsuiwa.co.jp/>

■ロボコム・アンド・エフエイコム南相馬工場について



南相馬工場はデジタルとリアルの統合により市場の変化に強い柔軟な生産ラインを実現したデジタルファクトリーです。これを可能にしているのはロボコム・アンド・エフエイコムも幹事企業の1社として参画するコンソーシアム「Team Cross FA」が有するデジタルシミュレーションを核とした技術の統合。デジタル上に構築された仮想生産ラインによるシミュレーションを行い、現実の生産ラインに反映することで自律制御された完全無人エリアを含む、全体最適化された工場です。

敷地内には研修センターも併設し、24時間稼働を可能にする最新設備を備えた、少人化・再エネルギー活用のモデルとなる工場として整備を進めてまいります。また、南相馬市復興工業団地内の各工場と「スマート工業団地」として連携をするべく南相馬市にもご協力をいただき、最終的には福島県相双地区を『日本のシリコンバレー』として日本の生産技術の一大発信拠点として、地域全体となり発展していくことを目指します。